

2026年5月21日 全8頁

Indicators Update

2026年4月貿易統計

中東情勢の影響が数量・価格両面で本格化も収支黒字が継続

経済調査部

エコノミスト

秋元 虹輝

[要約]

- 2026年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+14.8%と8カ月連続で増加し、季節調整値も前月比+1.4%と2カ月連続で増加した。輸入金額は前年比+9.7%と3カ月連続で増加し、季節調整値は前月比▲0.0%と横ばいとなった。貿易収支は+3,019億円と3カ月連続の黒字となった。季節調整値でも+2,365億円と2カ月連続の黒字となった。
- 中東情勢緊迫化の影響で中東向け自動車の輸出台数が前年比▲93.5%減少した。全世界からの原油及び粗油の輸入数量は同6割（中東は同7割）減少した一方、米国からの輸入数量は同4割増加するなど、代替調達動きも見られた。資源価格の高騰により交易条件は幾分悪化したものの、収支悪化への影響は限定的だった。
- 輸出数量（季節調整値）は前月比▲2.0%と2カ月ぶりに減少した。物流途絶等を受けた中東向けの自動車輸出の停滞が影響したほか、中国向けの半導体関連財（半導体等製造装置、IC、電算機類（含周辺機器）等）の減少が指数を押し下げた。
- 先行きの輸出数量は弱含むとみている。AI・データセンター需要が引き続き輸出を下支えする一方、中東情勢の緊迫化による供給制約や中東向け輸出の停滞等が下押し要因となるだろう。

【貿易金額】中東情勢緊迫化の影響が価格・数量両面で本格化

2026年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+14.8%とコンセンサス（同+9.2%、Bloomberg 調査）を上回り、8カ月連続で増加した（**図表1**）。主因は輸出価格（同+11.0%）の上昇だが、輸出の実勢を示す数量も同+3.4%と前年から増加した。輸出価格の上昇は、円安効果に加えて半導体関連財の市況高騰や後述する中東情勢の影響もある。旺盛なAI・半導体需要を背景にアジア向けを中心に半導体等電子部品やレアメタル等の非鉄金属が増加したことが金額を押し上げた。一方、主力製品である自動車の全世界向け輸出台数は同▲3.1%減少した。中東情勢緊迫化の影響で中東向けが同▲93.5%減少したことが影響した。輸出金額の季節調整値は前月比+1.4%と2カ月連続で増加した（**図表2左**）。輸出数量（以下、数量と価格の季節調整値は大和総研による）は減少した一方、輸出価格が上昇した。

輸入金額は前年比+9.7%と3カ月連続で増加した（**図表1**）。中東情勢の影響で数量（同▲3.4%）は減少したが、価格（同+13.6%）が上昇して金額を押し上げた。中東情勢緊迫化の影響で全世界からの原油及び粗油の輸入数量は同6割（中東は同7割）減少した一方、米国からの輸入数量は同4割増加するなど、代替調達動きも見られた。輸入金額の季節調整値は輸入価格の上昇が輸入数量の減少を相殺し、前月比▲0.0%と横ばいとなった（**図表2右**）。

資源価格の高騰により交易条件は幾分悪化したものの（巻末の「**交易条件**」参照）、その悪化幅は数量面の改善によって吸収され、貿易収支は+3,019億円と3カ月連続の黒字となった。季節調整値でも+2,365億円と2カ月連続の黒字となった（**図表3**）。交易条件の悪化が限定的であった背景には、資源価格に連動して輸出価格も上昇したことがある。「企業物価指数」（日本銀行）によると、4月の輸入物価のうち、石油・石炭・天然ガスが為替の影響を除いた契約通貨ベースで前年比+9.0%上昇した一方、輸出物価についてもジェット燃料油・灯油などのその他産品・製品が同+22.2%上昇し、エチレンなどの化学製品も同+9.6%上昇した。もっとも、今後の交易条件への影響は不透明であり、当面は貿易収支の攪乱要因となりそうだ。

図表1：貿易統計の概況

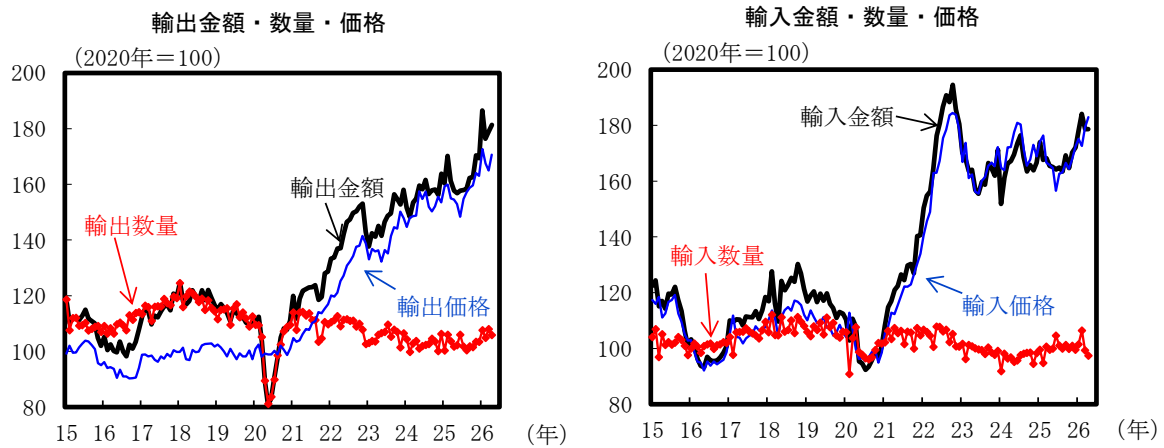
		2025年					2026年			
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲0.1	4.1	3.6	6.1	5.1	16.8	4.0	11.5	14.8
	コンセンサス									9.2
	DIRエコノミスト予想									9.2
	輸入金額	▲5.1	3.3	0.8	1.4	5.4	▲2.6	10.3	10.9	9.7
	輸出数量	▲4.0	▲1.1	▲1.3	0.4	▲1.3	8.8	▲0.9	3.6	3.4
	価格	4.0	5.3	5.0	5.7	6.4	7.3	5.0	7.5	11.0
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲0.1	5.7	1.3	3.6	2.9	▲0.6	12.2	2.4	▲3.4
	価格	▲4.9	▲2.3	▲0.5	▲2.2	2.4	▲2.0	▲1.6	8.3	13.6
	貿易収支(億円)	▲2,941	▲2,777	▲2,429	3,060	947	▲11,658	366	6,430	3,019
	輸出金額	0.3	2.4	0.2	4.8	▲0.6	10.1	▲5.4	1.4	1.4
	数量	▲1.3	1.4	▲0.3	2.0	0.0	4.0	▲2.5	3.0	▲2.0
	価格	1.6	1.0	0.5	2.8	▲0.6	5.9	▲3.0	▲1.5	3.4
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲0.9	3.5	▲2.7	3.3	1.1	3.6	3.3	▲3.0	▲0.0
	数量	▲1.1	1.3	▲1.4	1.1	▲1.4	1.9	4.8	▲6.6	▲2.0
	価格	0.2	2.2	▲1.3	2.2	2.5	1.6	▲1.4	3.8	2.0
	貿易収支(億円)	▲2,150	▲3,168	▲447	899	▲751	5,500	▲3,569	945	2,365
	税関長公示レート	147.73	147.61	149.51	153.17	155.86	156.91	155.65	156.60	159.27

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

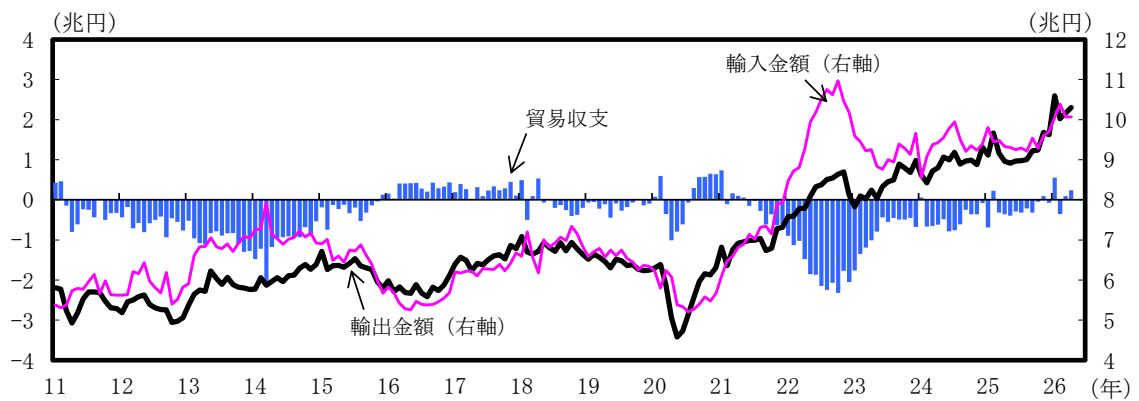
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】中東向け自動車輸出や中国向け半導体関連財が指数を押し下げ

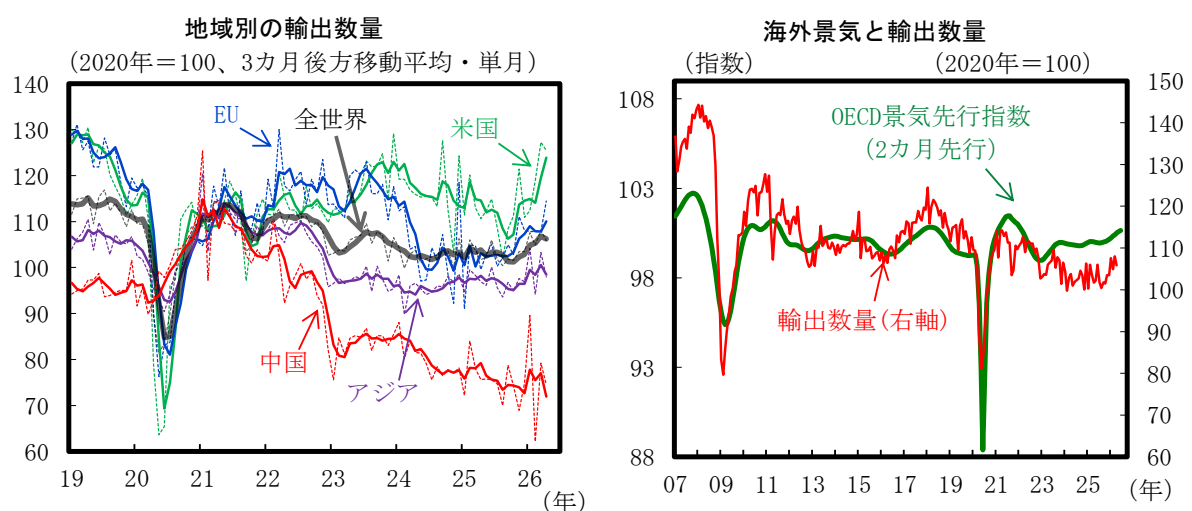
輸出数量（季節調整値）は前月比▲2.0%と2カ月ぶりに減少した（図表4左）。物流途絶等を受けた中東向けの自動車輸出の停滞が影響したほか、中国向けの半導体関連財（半導体等製造装置、IC、電算機類（含周辺機器）等）の減少が指数全体を押し下げた。数量全体を地域別で見ると、EU向け（同+6.2%）は増加した一方、アジア向け（同▲5.2%）、米国向け（同▲1.5%）は減少した。アジア向けのうち中国向け（同▲6.0%）も減少し、均して見ても軟調な推移が継続している（図表4左）。

米国向けは均して見れば高水準を維持するものの、4カ月ぶりに減少した。自動車関連財（自動車、自動車の部分品等）の減少が影響した。2025年末の半導体供給制約による一部メーカーの減産後の挽回輸出や、バッテリーEV補助金終了後の反動減からの回復の動きが一巡したとみられる。

EU向けは3カ月連続で増加した。乗用車や自動車の部分品、振れの大きな船舶などは減少した一方、鉄鋼やプラスチック、原動機など、中間財・資本財の輸出が増加した。医薬品は3カ月連続で増加した。

アジア向けは2カ月ぶりに減少した。中国を除くアジア向けの輸出は半導体関連財を中心に底堅かったものの、中国向けの同財の減少が指数全体を押し下げた。なお、中国向けについて詳しく見ると、半導体等製造装置は3月には一時的に増加したが、4月は再び減少した。国産化の動きなどから、弱い動きが継続しているとみられる。自動車やテレビ受像機などの耐久消費財は増加したが、前月の反動を除けば軟調な動きが継続しており、中国国内の消費の弱さを反映しているとみられる。

図表4：地域別の輸出数量（季節調整値、3カ月後方移動平均・単月）、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注) OECD 景気先行指数 (CLI) は G20 ベース。輸出数量の季節調整値は大和総研作成。左図の実線は3カ月後方移動平均、破線は単月の推移を示す。

(出所) 財務省、OECD 統計より大和総研作成

【見通し】輸出数量は弱含む見込み、中東情勢の緊迫化が下押し要因

先行きの輸出数量は弱含むとみている。AI・データセンター需要が引き続き輸出を下支えする一方、中東情勢の緊迫化の影響による国内素材産業の減産¹が関連製品の輸出における供給制約となるとみられる。また、物流途絶等を受けた中東向けの自動車輸出の停滞も続くと思われる。このうち、供給制約については、原油やナフサ等の代替調達が進むにつれ、供給制約は徐々に緩和されていくとみられるが、事実上の封鎖状態が長引くリスクには依然として警戒が必要だ。

米国向けは弱含むだろう。中東情勢の緊迫化による悪影響が輸出の逆風となる可能性がある。米欧ではエネルギーの中東依存度は必ずしも高くないものの、グローバルな資源価格の高騰を通じてコストプッシュ・インフレが生じる可能性がある。資源価格の高騰で米国の個人消費が下押しされれば、日本からの輸出にも悪影響が及ぶとみられる。

アジア向けは軟調に推移するだろう。濃淡はあるものの、アジアには原油等の輸入における中東依存度が高い国・地域が多く、中東情勢の緊迫化による供給制約のリスクに留意が必要だ。また、原油等の供給制約により域内の生産活動が停滞すれば、日本からの関連する中間財の輸出にも下押し圧力がかかる可能性がある。

アジア向けのうち中国向けも軟調な推移が見込まれる。中国では不動産不況の長期化などを背景に内需の弱さが続くと思われる、日本からの消費関連財や関連部材の輸出は伸び悩むだろう。設備更新支援策などを背景に製造業投資には持ち直しの動きも見られる²ものの、日本の資本財輸出への押し上げ効果は限定的とみられる。さらに、過剰供給問題の継続により、鉄鋼・プラスチックなどの素材製品を中心に日本からの輸出は抑制されるだろう。

欧州向けは持ち直しの動きが鈍化するだろう。欧州委員会が公表した2026年4月のユーロ圏景況感指数（総合）は前月差▲3.2ptと3カ月連続で低下した。欧州向け輸出は域内の消費回復を反映して、このところ、自動車関連を中心に持ち直しの動きがみられたが、インフレ率の加速による内需の下振れが、日本からの消費財輸出の逆風となる可能性に留意が必要だ。

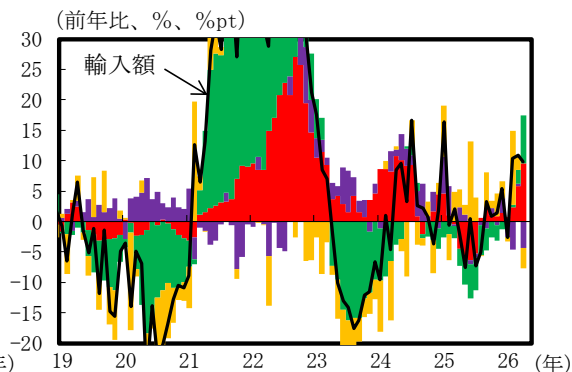
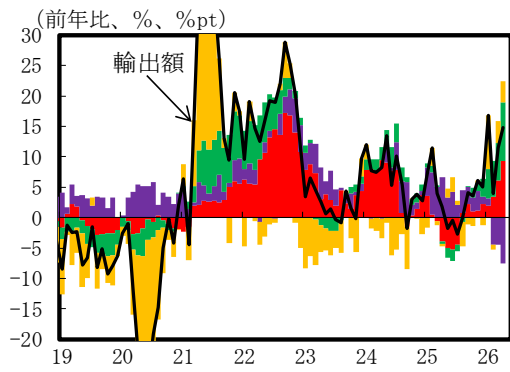
¹ 詳細はビリング安奈「[2026年3月鉱工業生産](#)」（2026年4月30日、大和総研レポート）を参照。

² 詳細は齋藤尚登「[中国：2026年は政府成長率目標の下限か](#)」（2026年4月21日、大和総研レポート）を参照。

概況

輸出額の変化とその要因分解

輸入額の変化とその要因分解

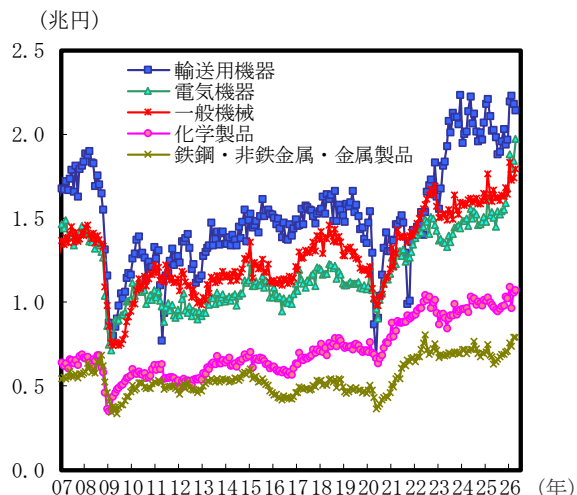
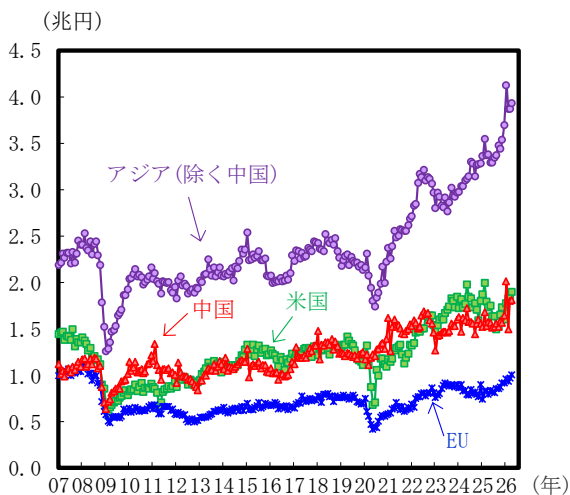


■数量 ■価格（海外物価・資源価格等要因） ■価格（付加価値要因） ■価格（為替要因）

(注) 価格（付加価値要因）は、輸出（入）物価指数（円ベース）で実質化した輸出（入）額と輸出（入）数量それぞれの増加率の差。価格（海外物価要因）は、輸出（入）物価指数（契約通貨ベース）の上昇率。価格（為替要因）は、輸出（入）物価指数（円ベース）の上昇率と価格（海外物価要因）の差。
 (出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

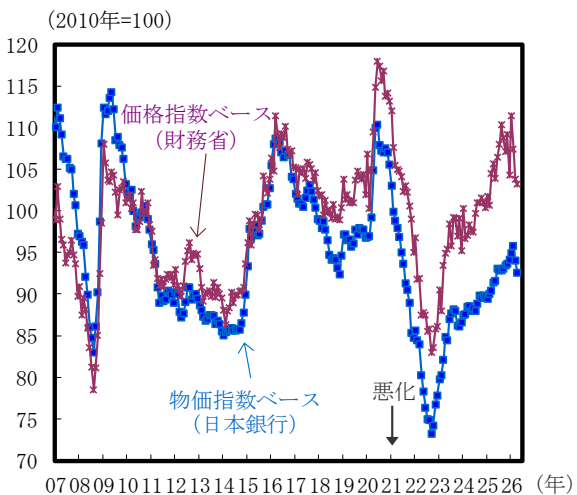
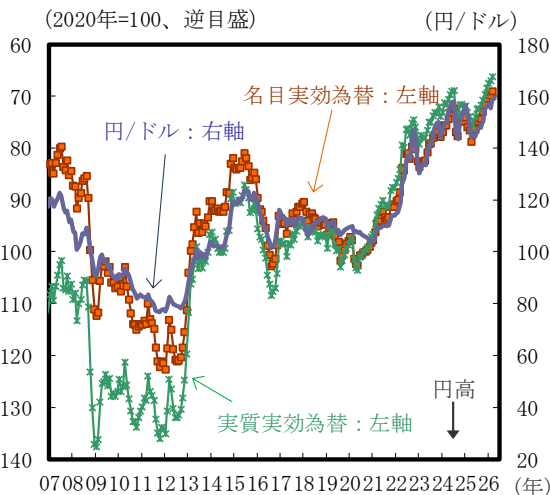
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



(注) 季節調整は大和総研。
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

為替相場

交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
 (出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03	2026/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.1	5.1	16.8	4.0	11.5	14.8	100.0	14.8
食料品	10.9	5.6	31.2	3.5	9.1	15.3	1.3	0.2
原料品	15.3	19.9	22.5	13.9	28.2	24.2	1.9	0.4
鉱物性燃料	9.2	5.1	20.5	37.2	66.0	10.7	1.0	0.1
化学製品	5.5	1.0	8.1	▲6.2	5.7	8.8	10.9	1.0
原料別製品	1.2	3.6	8.9	▲2.6	12.6	15.3	10.6	1.6
鉄鋼	▲9.0	▲6.2	▲10.8	▲15.5	▲1.9	▲2.9	2.9	▲0.1
非鉄金属	14.8	17.5	36.0	17.6	44.7	48.8	3.2	1.2
金属製品	2.0	1.7	17.4	1.6	10.4	11.7	1.3	0.2
一般機械	4.9	▲0.2	14.3	▲2.4	6.0	12.5	17.4	2.2
電気機器	7.4	11.3	27.3	10.3	21.5	28.6	18.8	4.8
半導体等電子部品	12.9	26.6	38.5	25.1	29.3	41.6	7.4	2.5
I C	12.1	25.3	40.6	32.3	30.7	43.9	5.6	2.0
映像機器	5.4	10.7	12.8	1.6	17.2			
映像記録・再生機器	24.3	33.3	32.1	21.6	30.1	25.3	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲2.1	▲2.9	5.7	▲11.2	▲6.4	11.2	0.2	0.0
電気回路等の機器	4.6	7.3	22.9	1.0	13.2	16.1	2.1	0.3
輸送用機器	▲2.5	▲5.0	0.7	1.3	3.4	6.0	20.2	1.3
自動車	▲4.2	▲3.1	0.4	2.3	0.9	3.5	14.7	0.6
自動車の部分品	▲7.4	▲10.5	1.4	▲9.9	2.2	4.4	3.2	0.2
その他	18.5	20.5	39.4	16.4	18.1	18.1	17.8	3.1
科学光学機器	▲0.5	▲0.5	21.6	▲8.6	11.1	16.5	2.4	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03	2026/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.8	▲11.1	▲5.1	▲8.0	3.4	9.5	100.0	9.5
食料品	20.0	2.8	2.7	▲4.3	27.7	28.1	1.5	0.4
原料品	3.6	2.3	27.5	18.5	2.1	19.2	0.5	0.1
鉱物性燃料	2588.9	▲52.7	▲34.8	173.2	212.0	237.5	0.1	0.1
化学製品	48.0	0.9	▲30.7	▲16.1	▲7.1	7.2	7.1	0.5
原料別製品	2.3	▲4.4	2.2	3.9	8.7	16.8	6.9	1.1
鉄鋼	▲20.9	▲14.7	▲19.7	2.2	10.0	11.3	1.0	0.1
非鉄金属	▲5.6	▲10.2	27.1	33.2	7.1	44.6	1.2	0.4
金属製品	6.5	▲0.2	5.7	1.2	10.3	8.5	1.6	0.1
一般機械	▲1.1	▲12.9	▲1.0	▲0.5	3.1	15.4	23.1	3.4
電気機器	0.9	▲7.3	6.3	2.3	14.7	18.9	15.3	2.7
半導体等電子部品	▲14.2	▲16.3	▲13.9	▲11.4	▲9.4	4.6	1.2	0.1
I C	▲28.1	▲28.0	▲15.1	▲23.9	▲25.2	▲6.6	0.5	▲0.0
映像機器	6.6	6.6	▲13.7	1.9	0.5			
映像記録・再生機器	24.6	20.2	▲6.7	3.0	▲1.3	5.9	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	28.2	24.4	17.8	▲3.3	10.8	17.4	0.2	0.0
電気回路等の機器	0.5	▲4.6	8.7	▲0.2	3.5	3.3	1.3	0.0
輸送用機器	0.7	▲16.3	▲5.6	▲13.0	1.2	0.2	33.7	0.1
自動車	1.5	▲19.2	▲9.9	▲14.8	▲1.6	▲2.3	25.9	▲0.7
自動車の部分品	▲8.5	▲15.7	0.9	▲15.9	2.0	8.6	5.6	0.5
その他	35.5	▲6.3	▲8.4	▲20.6	▲2.1	10.6	11.9	1.3
科学光学機器	▲11.1	▲9.7	7.9	▲14.4	18.7	29.2	3.0	0.7

EU向け輸出金額 内訳								
	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03	2026/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	19.5	2.5	29.6	14.0	16.1	26.9	100.0	26.9
食料品	78.2	37.9	49.3	35.5	28.3	46.2	0.8	0.3
原料品	36.9	▲19.0	72.4	7.9	▲6.9	41.6	1.3	0.5
鉱物性燃料	193.8	11.3	121.0	45.6	▲62.4	48.3	0.1	0.0
化学製品	▲3.1	▲21.9	▲5.4	0.3	▲2.8	5.2	9.4	0.6
原料別製品	25.2	▲6.3	16.7	5.7	20.6	15.3	6.6	1.1
鉄鋼	17.8	▲20.6	▲0.7	1.9	59.3	6.1	1.2	0.1
非鉄金属	17.0	8.5	33.3	37.1	41.2	13.3	1.0	0.2
金属製品	24.3	▲1.7	25.6	9.5	6.8	18.1	1.3	0.3
一般機械	29.1	▲1.0	33.3	17.8	13.9	44.2	20.4	7.9
電気機器	26.3	5.9	25.0	20.2	21.8	27.7	16.6	4.6
半導体等電子部品	20.7	35.3	46.6	36.4	16.2	19.5	2.4	0.5
I C	56.4	39.4	92.6	100.5	73.0	16.6	1.1	0.2
映像機器	60.0	18.1	18.4	54.8	55.3			
映像記録・再生機器	64.4	28.2	33.1	74.7	68.6	7.5	0.9	0.1
音響・映像機器の部分品	▲5.7	19.4	5.9	4.7	1.7	2.1	0.1	0.0
電気回路等の機器	25.5	14.3	12.3	22.3	10.5	19.8	1.4	0.3
輸送用機器	23.7	10.6	49.6	11.1	13.3	36.0	27.6	9.3
自動車	25.6	23.2	67.6	26.3	21.1	48.2	20.4	8.4
自動車の部分品	12.2	▲17.9	22.9	▲18.4	▲4.8	1.1	3.2	0.0
その他	9.1	12.8	27.8	21.1	33.0	13.7	17.2	2.6
科学光学機器	1.3	▲6.4	16.7	▲6.9	8.0	19.4	4.0	0.8

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03	2026/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.4	10.2	25.7	2.7	15.9	16.1	100.0	16.1
食料品	2.3	6.5	42.9	▲0.4	7.5	11.5	1.4	0.2
原料品	16.2	25.5	22.6	14.6	36.1	25.0	3.0	0.7
鉱物性燃料	▲6.6	3.6	24.5	25.0	51.5	▲5.1	1.3	▲0.1
化学製品	▲0.4	7.2	20.4	▲5.0	9.7	11.3	14.3	1.7
原料別製品	0.3	3.3	13.6	▲0.5	15.1	18.0	13.2	2.3
鉄鋼	▲11.2	▲11.7	▲6.0	▲14.4	▲9.5	▲3.3	3.6	▲0.1
非鉄金属	14.3	19.1	33.5	20.6	49.0	50.1	5.1	2.0
金属製品	1.1	6.9	20.1	▲0.5	11.1	10.2	1.3	0.1
一般機械	2.8	2.9	19.2	▲12.7	8.2	7.1	16.5	1.3
電気機器	6.7	17.9	33.0	10.6	24.0	31.0	23.8	6.5
半導体等電子部品	14.0	29.2	42.2	27.2	33.1	44.5	12.4	4.4
IC	12.6	27.2	41.7	33.3	32.4	45.9	9.7	3.5
映像機器	▲6.0	14.1	16.6	▲13.6	14.6			
映像記録・再生機器	6.6	43.1	48.5	0.7	39.3	39.4	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲3.2	▲12.0	▲9.4	▲19.6	▲11.4	5.1	0.2	0.0
電気回路等の機器	2.7	8.4	27.5	▲1.8	16.6	18.0	2.8	0.5
輸送用機器	▲1.2	▲6.8	▲10.5	▲6.9	5.0	5.3	6.9	0.4
自動車	▲6.6	4.9	▲6.7	▲7.9	▲4.7	5.8	4.3	0.3
自動車の部分品	▲9.2	▲4.0	▲0.2	▲1.6	7.3	3.6	2.0	0.1
その他	11.2	22.0	50.7	17.6	20.7	15.4	19.7	3.1
科学光学機器	3.3	3.4	29.4	▲8.4	11.0	11.7	2.4	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2025/11	2025/12	2026/01	2026/02	2026/03	2026/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.5	5.5	32.0	▲11.0	17.7	15.5	100.0	15.5
食料品	▲5.9	3.0	43.6	▲23.8	16.4	0.2	0.7	0.0
原料品	27.7	65.4	64.3	35.1	57.8	44.2	4.7	1.7
鉱物性燃料	0.7	45.2	▲9.2	7.7	▲12.8	116.7	1.2	0.8
化学製品	▲1.0	5.6	36.5	▲16.6	16.5	8.5	18.1	1.6
原料別製品	▲13.9	▲3.4	25.5	▲18.4	20.3	17.8	11.3	2.0
鉄鋼	▲7.6	▲13.7	24.5	▲30.1	▲12.7	▲4.0	1.9	▲0.1
非鉄金属	▲26.8	▲6.5	16.7	▲10.6	56.5	47.8	4.9	1.8
金属製品	▲10.1	2.6	15.7	▲15.6	▲1.5	▲6.8	1.3	▲0.1
一般機械	▲6.6	▲2.0	33.4	▲22.5	8.9	▲4.2	19.5	▲1.0
電気機器	1.7	9.2	36.4	▲0.7	26.7	38.9	23.4	7.6
半導体等電子部品	22.8	22.3	48.2	39.5	44.1	88.6	10.2	5.5
IC	21.1	20.1	48.0	62.4	52.8	121.6	7.6	4.8
映像機器	▲15.0	9.8	17.9	▲26.9	12.0			
映像記録・再生機器	▲11.0	54.8	65.8	▲27.8	38.6	51.0	0.7	0.3
音響・映像機器の部分品	▲6.9	▲21.4	▲5.4	▲13.3	▲15.5	▲9.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲4.4	7.5	26.5	▲16.6	16.6	12.9	3.3	0.4
輸送用機器	▲14.9	▲6.8	▲20.7	0.3	▲12.2	3.6	6.3	0.3
自動車	▲6.3	▲0.3	▲18.9	18.3	▲15.8	10.3	4.4	0.5
自動車の部分品	▲28.6	▲21.6	▲16.3	▲24.9	▲4.2	▲3.6	1.7	▲0.1
その他	4.4	12.0	50.1	▲9.8	29.4	18.1	14.8	2.6
科学光学機器	7.5	3.4	30.8	▲24.0	9.3	8.2	3.2	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成